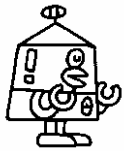


花がさかない木は、どうやってふえるの



ほとんどの木に、花はさくよ。花のように見えない花もあるけどね。でも、木は、さし木でふやすことが多いね。

花に見えない、木の花もある

花がさく木というとサクラやツツジなどで、スギ、マツ、ヒノキなどは、花がさかない木のように思えます。でも、これらの木を調べてみると、め花とお花があり、お花から出た花粉がめ花につくと、たねができます。これらの花の花粉は軽くて飛びやすく、風に飛ばされてめ花に運ばれます。こん虫に花粉を運んでもらうのではないので、目立つ花びらもなく、みつや強いにおいもしません。

松ぼっくりはマツのめ花で、かさの間には、たねができています。

植物には、たね以外にも、いろいろなふえ方がある

木を切りたおすと、みきの切り口のまわりから、たくさん子どもの芽が出てきて、どんどん成長していきます。この出てきた^{えだ}枝や、ふつうの木の枝を切って地面につきさしておくと、根が出てきてそのまま1本の木に成長することが多いものです。また、地面の下に広がった根から、新しい木が芽を出す種類もあります。

たれ下がって地面にふれた枝から、根が出て、新しい木になることもあります。でも、花からたねができて、鳥や小動物、風が遠くまでたねを運び、たねでふえるものがいちばん多いでしょう。

